

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

<p>【注意点】 チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。</p>		
	確認事項	調査のタイミング
自由記載欄		
診療体制		
集学的治療及び標準的治療等を提供するに当たり、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等のスクリーニングを、診断時から外来及び病棟にて行うことのできる体制を整備している。		
□	院内で使用しているスクリーニングツールの実物を確認する	事前準備資料
□	ツールに、身体的苦痛・精神心理的苦痛・社会的な問題等の内容が含まれるか確認する	事前準備資料
□	外来・病棟の看護師に、使用しているスクリーニングツールについて確認し、スクリーニング陽性時の対応について確認する	施設内訪問
院内で一貫したスクリーニング手法を活用している。		
□	スクリーニングの手法について説明を求める	緩和ケアチームヒアリング（看）
必要に応じて看護師等によるカウンセリング（以下「がん患者カウンセリング」という。）を活用する等、安心して医療を受けられる体制を整備している。		
□	がん患者カウンセリングの場所の確認	施設内訪問
□	がん患者カウンセリングの体制を確認し、安心して医療がうけられる体制か確認	緩和ケアチームヒアリング（身・看）
緩和ケアチームと連携し、スクリーニングされたがん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛を迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。		
□	スクリーニング陽性の際の対応を確認する	緩和ケアチームヒアリング（身・看）
がん疼痛や呼吸困難などに対する症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした院内マニュアルを整備すると共に、これに準じた院内クリティカルパスを整備し活用状況を把握する等、実効性のある診療体制を整備している。		
□	症状緩和または、医療用麻薬の適正使用を目的とした院内マニュアルや院内クリティカルパスを確認	事前準備資料
□	院内クリティカルパスの運用（使用実績やパス使用の有用性等）の状況の聴取	緩和ケアチームヒアリング（看・薬）
がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボード（手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。以下同じ。）を設置し、その実施主体を明らかにした上で、月1回以上開催すること。なお、カンサーボードを開催するに当たっては、以下の点に留意すること。		
カンサーボードには治療法（手術療法、薬物療法、放射線療法等）となり得る診療科の複数診療科の担当医師が参加すること。また、緩和ケア担当医師や病理医についても参加することが望ましい。		
□	カンサーボードへの緩和ケア担当医師の参加を確認する	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ適切に依頼ができる体制を整備すること。		
□	緩和ケアチームへの依頼が適切にできる体制か確認する	緩和ケアチームヒアリング（身・看）
緩和ケアの提供体制		
（2）の①のオに規定する医師及び（2）の②のウに規定する看護師等を構成員とする緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。		
□	組織図の中の緩和ケアチームを確認する	事前準備資料
緩和ケアががんと診断された時から提供されるよう、がん診療に携わる全ての診療従事者により、緩和ケアが提供される体制を整備している。		

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

【注意点】チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。			
		確認事項	調査のタイミング
自由記載欄			
	<input type="checkbox"/>	がんと診断された時に、がん診療に携わる全ての診療従事者による緩和ケアの提供体制	全体説明
緩和ケアががんと診断された時から提供されるよう、アに規定する緩和ケアチームにより、以下の緩和ケアが提供される体制を整備している。			
週1回以上の頻度で、定期的に病棟ラウンド及びカンファレンスを行い、適切な症状緩和にについて協議している。			
	<input type="checkbox"/>	病棟ラウンド・カンファレンス記録	事前準備資料
	<input type="checkbox"/>	病棟ラウンドを行っているかの確認	施設内訪問（一般病棟）
当該病棟ラウンド及びカンファレンスについて主治医や病棟看護師等に情報を共有し、必要に応じて参加を求めている			
	<input type="checkbox"/>	主治医・または病棟看護師に対する必要に応じた参加を求めている	緩和ケアチームヒアリング（身・看）
(2)の①のオに規定する身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師は、手術療法・薬物療法・放射線治療等、がん診療に関するカンファレンス及び病棟回診に参加し、適切な助言を行うとともに、必要に応じて共同して診療計画を立案している			
	<input type="checkbox"/>	身体症状担当医師によるがん診療のカンファレンス・病棟回診への参加	緩和ケアチームヒアリング（身）
	<input type="checkbox"/>	病棟における適切な助言	施設内訪問（一般病棟）
(2)の②のウに規定する精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師に関しても、がん診療に関するカンファレンス及び病棟回診に参加することが望ましい。			
	<input type="checkbox"/>	精神症状担当医師によるがん診療のカンファレンス・病棟回診への参加	緩和ケアチームヒアリング（精）
(2)の②のウに規定する看護師は、苦痛のスクリーニングの支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟の看護業務を支援・強化している。			
	<input type="checkbox"/>	専門的緩和ケアの調整、外来、病棟の看護業務支援の内容	緩和ケアチームヒアリング（看）
同看護師は主治医及び看護師等と協働し、必要に応じてがん患者カウンセリングを実施している。			
	<input type="checkbox"/>	がん患者のカウンセリングの実施状況	緩和ケアチームヒアリング（看）
緩和ケアに係る診療や相談支援の件数及び内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニング結果など、院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析し、評価を行い、緩和ケアの提供体制の改善を図っている。			
	<input type="checkbox"/>	緩和ケア・相談支援の件数と内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニングの結果	全体説明
	<input type="checkbox"/>	緩和ケアに係る情報を把握・分析・評価を行い、どのような改善を図ったか	全体説明
がん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛に対して、必要に応じて初回処方を緩和ケアチームで実施する等、院内の診療従事者と連携し迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。			
	<input type="checkbox"/>	初回処方についてどのような実施をおこなっているか	緩和ケアチームヒアリング（薬）
外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。「外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制」とは、医師による全人的かつ専門的な緩和ケアを提供する定期的な外来を指すものであり、疼痛のみに対応する外来や、診療する曜日等が定まっていない外来は含まない。			
	<input type="checkbox"/>	緩和ケア外来の場所・設置、診療時間の確認	施設内訪問（緩和ケア外来）
	<input type="checkbox"/>	緩和ケア外来の年間新規症例数、受診患者数、のべ数の推移	
外来診療日については、外来診療表等に明示し、患者の外来受診や地域の医療機関の紹介を円滑に行うことができる体制を整備している。			

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

【注意点】チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。			
		確認事項	調査のタイミング
自由記載欄			
	<input type="checkbox"/>	外来診療表の確認	施設内訪問（緩和ケア外来）
緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数（平成29年1月1日～12月31日）			
	<input type="checkbox"/>	過去3年間の推移	全体説明
	<input type="checkbox"/>	延べ数に関する推移を踏まえ今後どのような方向性とするのか	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数（平成29年1月1日～12月31日）			
	<input type="checkbox"/>	過去3年間の推移	全体説明
	<input type="checkbox"/>	延べ数に関する推移を踏まえ今後どのような方向性とするのか	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
地域の医療機関からの年間新規紹介患者数（平成29年1月1日～12月31日）			
	<input type="checkbox"/>	過去3年間の推移の確認	全体説明
	<input type="checkbox"/>	延べ数に関する推移を踏まえ今後どのような方向性とするのか	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
医療用麻薬等の鎮痛薬の初回使用時や用量の増減時には、医師からの説明とともに薬剤師や看護師等による服薬指導を実施し、その際には自記式の服薬記録を整備活用することにより、外来・病棟を問わず医療用麻薬等を自己管理できるよう指導している。			
	<input type="checkbox"/>	服薬記録の整備状況の確認	事前準備資料
	<input type="checkbox"/>	指導記録の確認	事前準備資料
院内の医療従事者と緩和ケアチームとの連携を以下により確保している。			
緩和ケアチームへがん患者の診療を依頼する手順には、医師だけではなく、看護師や薬剤師など他の診療従事者からも依頼できる体制を確保している。			
	<input type="checkbox"/>	他の診療従事者からの依頼に対する体制の確認	緩和ケアチームヒアリング（身・看）
	<input type="checkbox"/>	外来・病棟の看護師からの依頼を行っているか	施設内訪問（外来・病棟）
緩和ケアチームへがん患者の診療を依頼する手順など、評価された苦痛に対する対応を明確化し、院内の全ての診療従事者に周知するとともに、患者とその家族に緩和ケアに関する診療方針を提示している。			
	<input type="checkbox"/>	患者や家族に対する診療方針の説明記録の確認（個人情報を除いた診療記録）	事前準備資料
がん治療を行う病棟や外来部門に、緩和ケアの提供について診療従事者の指導にあたりとともに緩和ケアの提供体制について緩和ケアチームへ情報を集約するため、緩和ケアチームと各部署をつなぐリンクナース（医療施設において、各種専門チームや委員会と病棟看護師等をつなぐ役割を持つ看護師のことをいう。以下同じ。）を配置している。			
	<input type="checkbox"/>	リンクナースのヒアリング	施設内訪問（一般病棟）
患者や家族に対し、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。			
	<input type="checkbox"/>	意思決定支援に提供体制の説明	緩和ケアチームヒアリング（身・精・看）
アからキにより、緩和ケアの提供がなされる旨を、がん患者および家族に対しわかりやすく情報提供を行っている。			
	<input type="checkbox"/>	ポスター・入院時資料・ホームページにおいて緩和ケアチームの説明	事前準備資料

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

<p>【注意点】チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。</p>		
	確認事項	調査のタイミング
自由記載欄		
かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医および看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明および指導を行っている。		
<input type="checkbox"/>	主治医および看護師とともに、退院後の緩和ケアに関する必要な説明、指導を実施した記録（個人情報を除いた診療録の確認）	事前準備資料
緩和ケアに関する要請および相談に関する受付窓口を設けるなど、地域の医療機関及び在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備している。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケアマップの確認	事前準備調査 現況報告書（別紙8）
地域連携の推進体制		
緩和ケアの提供に関しては、当該医療圏内の緩和ケア病棟や在宅緩和ケアが提供できる診療所等のマップやリストを作成する等、患者やその家族に対し常に地域の緩和ケア提供体制について情報提供できる体制を整備している。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケアに関するマップやリストの確認	事前準備資料 現況報告書（別紙8）
<input type="checkbox"/>	地域の緩和ケア提供体制についての情報提供の体制（マップやリストの患者に対する情報提供等）	緩和ケアチームヒアリング（看・生）
病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線治療、薬物療法又は緩和ケアの提供に関する相談など、地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備している。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケアに関する相談において、地域の医療機関の医師と相互的な連携協力・教育体制を整備（例、開放型病院等における共同診療や地域の医療機関での緩和ケア診療の提供等）	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、症状緩和に係る院内クリティカルパスに準じた地域連携クリティカルパスやマニュアルを整備するなど院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備している。		
<input type="checkbox"/>	症状緩和に関する地域連携クリティカルパスやマニュアルの整備	事前準備資料
<input type="checkbox"/>	緩和ケアが在宅診療でも継続して実施できる体制の整備	緩和ケアチームヒアリング（身・精・看）
退院支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意志決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在宅診療に携わる医師や訪問看護師等と退院前カンファレンスを実施している。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケアチーム等との連携による療養場所等に関する意思決定支援	施設内訪問（一般病棟）
<input type="checkbox"/>	地域の在宅診療に携わる医師・訪問看護師との退院前カンファレンスの実施	事前準備資料
当該医療圏において、地域の医療機関や在宅診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援のあり方について情報を共有し、役割分担や支援等について議論する場を年1回以上設けている。		
<input type="checkbox"/>	情報共有、役割分担に関して議論する場の設置	現況報告書（別紙10）
<input type="checkbox"/>	（参考）厚生労働省委託事業緩和ケア連携調整員研修の受講の有無	事前準備資料
セカンドオピニオンの提示体制		
我が国に多いがんその他当該施設で対応可能ながんについて、手術療法、放射線治療、化学療法または緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する医師によるセカンドオピニオン（診断および治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。以下同じ。）を提示する体制を整備している。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケアに携わる医師によるセカンドオピニオンを提示し、行っている	緩和ケアチームヒアリング（身・精）
診療従事者		

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

<p>【注意点】 チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。</p>			
		確認事項	調査のタイミング
自由記載欄			
専門的な知識及び技能を揺する医師の配置			
<p>(1) の⑤のAに規定する緩和ケアチームに、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置すること。なお、当該医師については、専任であることが望ましい。また、当該医師は緩和ケアに関する専門資格を有する者であることが望ましい。</p>			
<input type="checkbox"/>		緩和ケアチームの身体症状の緩和に携わる専門的な知識・技能に関して、診療科や経験、研修、専門資格などを確認	緩和ケアチームヒアリング (身)
<input type="checkbox"/>		専任として従事している (就業時間の5割以上を緩和ケアチームの診療に従事している)	緩和ケアチームヒアリング (身)
<p>1) の⑤のAに規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置すること。なお、当該医師については、専任であることが望ましい。</p>			
<input type="checkbox"/>		緩和ケアチームの精神症状の緩和に携わる専門的な知識・技能に関して、診療科や経験や研修、専門資格などを確認	緩和ケアチームヒアリング (精)
<input type="checkbox"/>		常勤として従事している	緩和ケアチームヒアリング (精)
専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置			
<p>(1) の⑤のAに規定する緩和ケアチームに、専任の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置すること。なお、当該看護師はがん看護又は緩和ケアに関する専門資格を有する者であること。</p>			
<input type="checkbox"/>		緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能に関して、経験や研修、専門資格などを確認	緩和ケアチームヒアリング (看) 現況報告書 (別紙11)
<input type="checkbox"/>		(参考) がん看護又は緩和ケアに関する専門資格とは、がん専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛認定看護師である	緩和ケアチームヒアリング (看) 現況報告書 (別紙11)
<p>(1) の⑤のAに規定する緩和ケアチームに協力する薬剤師、医療心理に携わる者及び相談支援に携わる者をそれぞれ1人以上配置することが望ましい。なお、当該薬剤師は緩和薬物療法に関する専門資格を有する者であることが望ましい。また、当該医療心理士に携わる者は公認心理師又はそれに準ずる専門資格を有する者であることが望ましい。また、当該相談支援に携わる者については社会福祉士等であることが望ましい。</p>			
<input type="checkbox"/>		協力する薬剤師の配置	緩和ケアチームヒアリング (薬) 現況報告書 (別紙11)
<input type="checkbox"/>		協力する医療心理に携わる者の配置	緩和ケアチームヒアリング (心) 現況報告書 (別紙11)
<input type="checkbox"/>		協力する相談支援に携わる者の配置	緩和ケアチームヒアリング (生) 現況報告書 (別紙11)
診療実績			
<p>緩和ケアチームの新規介入患者数 年間50人以上 (平成29年1月1日～12月31日) なお、患者数については同一入院期間内であれば複数回介入しても1人として計上する。</p>			
<input type="checkbox"/>		緩和ケアチームの新規介入患者数	全体説明 様式4 (機能別) 293
<input type="checkbox"/>		過去3年間の推移の確認	全体説明
研修の実施体制			

緩和ケア提供体制に関する実地調査チェックリスト(案)

(地域がん診療連携拠点病院)

【注意点】 チェック項目は、訪問メンバーにて、必要項目を選択すること。また、チェック項目だけでなく、具体的な医療従事者の問題意識や課題も自由記載欄に記載すること。		
	確認事項	調査のタイミング
自由記載欄		
「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催すること。また、自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備し、受講率を現況報告において、報告すること。また、医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促すことが望ましい。なお、研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供すること。		
<input type="checkbox"/>	自施設に所属する臨床研修医が緩和ケア研修会を修了している(受講率)	事前準備資料 現況報告(様式4(機能別)350)
<input type="checkbox"/>	1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が緩和ケア研修会を修了している(受講率)	事前準備資料 現況報告(様式4(機能別)353)
<input type="checkbox"/>	未修了の医師に対する今後の計画	全体説明
<input type="checkbox"/>	研修修了者について、患者・家族に対してのわかりやすい情報提供の方法(ポスター、ホームページ、バッジ等)	緩和ケアチームヒアリング(身・看)
連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講勧奨を行うこと。		
<input type="checkbox"/>	どの医療施設に対して、受講勧奨を行っているか	事前準備資料
(1)のほか、原則として、当該医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断、副作用対応を含めた放射線治療・薬物療法の推進及び緩和ケア等に関する研修を実施すること。なお、当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫するように努めること。		
<input type="checkbox"/>	緩和ケア研修会以外の研修の実施に関する資料の確認	事前準備資料
情報の収集提供体制		
情報提供・普及啓発		
地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めること。		
<input type="checkbox"/>	地域における緩和ケアに関する普及啓発に関する資料の確認	事前準備資料